

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22 年 3 月 2 日

【評価実施概要】

事業所番号	570507806
法人名	伊藤建友株式会社
事業所名	グループホーム本荘やすらぎ苑
	秋田県由利本荘市石脇字山ノ神11-383 (電 話) 0184-25-8230
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成22年2月23日

【情報提供票より】 (平成22年 2 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年 12 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 6 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 7.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺き 造り
	2 階建ての ~ 1,2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	26,235 円	その他の経費(月額)	4,500円(11月~3月9,500円)	
敷 金	有 (円) <input checked="" type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> (50,000円) 無	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (2 月 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護 1	2名	要介護 2	2名		
要介護 3	5名	要介護 4			
要介護 5		要支援 2			
年齢	平均 74 歳	最低	59 歳	最高	86 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	本荘第一病院・五味デンタルクリニック
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

和室の広縁から手入れされた庭や畑を見ながら過ごせる落ち着いた雰囲気のあるホームです。民家を改築した2階建ての建物ですが、内部の段差を解消し、手すりやエレベーターを設置して利用者の安全に配慮されています。また階段の昇降により身体機能の維持にも配慮されています。毎日の散歩や外出、畑作業等の機会を作り、利用者が自由にゆったりとした生活ができる環境づくりに努めており、午前と午後の2回全員で転倒防止運動を行って成果を上げています。面会に来られた方はいつでも気軽に宿泊できるような態勢もできています。
職員ごとの研修ファイルを作成して内外の研修が計画的に受講できるようにしており、事務所内には職員の学習用の書籍が準備されて知識向上や上位資格の取得に向けての取り組みがされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価で期待された項目については、グループホーム連絡協議会を通じて近隣のグループホームとの交流が図られ、サービスの質の向上に役立つ取り組みをされています。また業務の見直しにより、一人ひとりの生活リズムや希望に沿った支援が行われており、改善がみられました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	全職員が自己評価に関わり、評価結果は定例会議で報告され、利用者や家族にも報告されます。評価結果を活かした取り組みができるようその後のミーティングでも日常的に話し合い、日々のケアに積極的に活用されています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されています。現状報告や意見交換が行われ、そこで出された意見を全職員で話し合い、サービスの質の向上が図れるよう取り組まれています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	ホームでの生活の様子を毎月手紙で報告している他、3ヶ月に1回「苑だより」でもホームの活動状況を報告しています。面会時にも意見や要望を聞き、外部の相談窓口もあることを紹介しています。寄せられた意見や要望について話し合い、対応結果を文書化して運営に反映させています。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	町内会に入り、広報でホームを紹介してもらったり、会議の際には管理者が出席してホームへの理解と協力が得られるよう努めています。お祭り際には苑庭で山車と子供達の踊りが披露され、休憩場所として利用されるのが恒例となっています。また犬の散歩途中に立ち寄ってくれる人もいて、近隣住民との良好な関係が築かれています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型と位置づけられた時点で新しい理念をつくり、地域の一員として共に安心して暮らせるよう支援が行われています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念は事務所と玄関に掲示されており、職員は理念を常に意識して業務に取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の地域活動に参加している他、近隣住民にはホームの理解が得られていて、犬の散歩途中に立ち寄ってもらったり、お祭りでは苑庭を利用してもらうのが恒例となっている等地域との交流に努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が自己評価に取り組み、評価結果は全職員が出席する定例会議で報告され、利用者や家族にも報告されます。そこで出た意見等もミーティングで日常的に話し合わせ、日々のケアに積極的に活用されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催され、新規利用者の家族は必ず出席されています。会議では現状報告や意見交換が行われ、サービスの質の向上に努めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市開催の「地域ケア会議」に毎月出席し、各種情報を取り入れながらサービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	3ヶ月に1回の「苑だより」の発行時、また利用者のホームでの様子を毎月手紙で報告しており、電話や面会時にも随時の報告がされています。金銭管理については、毎月家族に収支報告し、サインをいただいています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に意見や要望を聞き取り、外部の相談窓口も積極的に紹介しています。寄せられた意見や要望の対応結果を文書化し、日々のサービスにつなげる取り組みをされています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職による交代はありますが、利用者一人ひとりに応じた対応をしており、混乱が生じないよう配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの研修ファイルがあり、県の研修等内外の研修が計画的に受講できるよう職員の育成に努めています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会を通じて市内12ヶ所のグループホームとの交流が図られています。今後は同一法人のグループホームとの相互交流も検討しております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入居決定前に見学していただき、本人家族共に納得していただいた上で、徐々に馴染めるような支援がされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの生活リズムで過ごせるよう配慮されています。これまでの人生経験から学ぶことも多く、共に協力し、支えあう関係が築かれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中から一人ひとりの意向の把握に努め、生活暦に応じて本人の気持ちを尊重したケアが行われています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の要望を聞き、職員とも話し合っ てケアプランを作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の状態に合わせ、2週間、1ヶ月、2ヶ月の期間でプランの見直しが行われ、状況によっては本人、家族、職員と話し合い、随時の見直しが行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望や状況に応じて通院や外出等柔軟に対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する医療機関の受診を支援している他、近医のホームへの理解も得られていて随時の往診も可能です。定期的な健康診断も行われて、相談、受診体制は整っています。受診結果はその都度家族にも報告されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの方針として終末期の対応はしていないこと、またそうなった場合の対応について利用開始時に説明しています。現在対象となる利用者はいませんが、重度化した場合の受け入れ先となる病院との契約もできており、全職員が方針を共有しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	介護記録等は事務室の書庫に保管され、個人名はアルファベットで表記する等の工夫をして取り扱いに配慮しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩を日課にしている人、外出したい人等、一人ひとりの生活リズムに合わせた支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付け等をできる範囲で参加してもらい、職員と一緒に和やかに食事をされています。ホームの畑で収穫した野菜を食材にすることもあり、時には外食も楽しまれています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は男女別に1日おきと決められており、ゆっくり入浴が楽しめるよう配慮されています。また本人の体調や意向に沿った支援も行われています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や身体機能に応じて調理や畑仕事、散歩等楽しく自由に生活できるよう支援が行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物等希望に沿って外出できるよう柔軟に対応されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	居室には鍵をつけておらず、玄関も日中は施錠されていません。玄関にはセンサーがついていますが、利用者の居室にはセンサー音が届かない配慮がされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年3回避難訓練を実施しています。近隣住民は日中勤務している人が多いため訓練に参加してはいたませんが、ホームの理解を得ており、今後も協力を得られるよう働きかけを継続していくこととしています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理者が成分表によりカロリー計算をして、栄養バランスを考えた食事量や水分提供がされていて、記録にも残しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂には食卓の他にソファが置かれ、広い和室には縁側が付いていて苑庭の草花を眺めたり、散歩の途中に立ち寄った人と談笑できる造りになっています。手すりやスロープが随所に設置され、利用者はそれぞれの場所で自由に過ごしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家を改築した造りで、各部屋の間取りは違っていますが、使い慣れた愛用品や写真を持ち込み、職員が各部屋の換気に気を配り、居心地良く過ごせるよう配慮されています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。